

令和5年度 かながわティーチャーズカレッジ

# COLLEGE NEWS

カレッジニュース



令和5年9月17日 発行  
神奈川県立総合教育センター  
かながわティーチャーズカレッジ事務局  
(教育人材育成課キャリア開発班)

## 第3回 かながわ教育学講座

令和5年9月3日、第3回かながわ教育学講座が開催されました。第3回教育学講座のテーマは「コミュニケーション能力の育成」です。講師にコアネット教育総合研究所横浜研究室の熱海康太先生を迎え、講義「コミュニケーション能力を高めるコーチング技術と考え方」のあと、各グループで「コミュニケーション能力の育成」について協議が行われました。

### 講義「コミュニケーション能力を高めるコーチング技術と考え方」

講義では、「コーチング」とは子どもたちを支援し、自分の力で羽ばたけるようになることを支えるという考え方であることが説明されました。具体的には、「コミュニケーションの失敗の多くは、自分の考えややり方を相手に押しつけた時に起こる。コミュニケーションでは相手の考えを引き出し、合意形成を図ることが大切である。」との話がありました。そして、「これは指導にも同じことが言え、指導でも教員の考えややり方を押しつけるのではなく、相手の考えを引き出し、選択肢を整理し、自己決定を支えることが大切である。」と説明されました。

そして「コーチングの方法」として、「①話しやすい雰囲気をつくる。②問題ではなく話し手に焦点化する。③話し手の真意を引き出す。」ことについてお話しがありました。また、2～3人グループをつくり、ロールプレイングを行いました。話しづらい先生を演じたり、悩みを相談する人、相談を受ける人、オブザーバーなどの役割を決めたりする等、実践的な活動を行いました。ロールプレイングから感じたこととして「相談されたときに、ついつい自分の意見を言いたくなってしまう。それを言わないように我慢するのが難しかった。」「ミラーリングを行い、優しい言葉で言い換えることで話しやすい雰囲気がつくれた。」などの振り返りが発表されました。



### グループ協議



グループ活動では、学校生活において、子どもとのコミュニケーションが必要な場面を具体的にイメージすることを通して、「子どもとのコミュニケーションにおいて、教員として大切なことや気を付けるべきこと」を考えました。個人で考えた「大切なこと」や「気を付けるべきこと」を付箋に書き出し、グループで共有し、模造紙にまとめて発表しました。

## 受講者のワークシートより

### 《オープンコース》

コミュニケーションをとる時、安心感が何よりも大切だと認識することができた。今後、安心感の土台は何かを改めて考えていきたい。また、最後の総括を聞いて、コミュニケーションのあり方は多様であり、自身のコミュニケーションの強みを改めて考える必要を感じた。そして多様であるからこそ相手への理解が大事だと思われ、相手の持つ世界観についても考える必要がある。特に障がいがある方々とのコミュニケーションなどについては、的外れなものになるのではと考えた。世界観を広げるには、現場に入るしかないと考え、今後、積極的に様々な場に参加したい。

講義では、コーチングについて学んだ。コーチングについては今まで学んだことはなかったが、とても大切なことであると感じた。生徒が悩みを抱えているときは、最終的には自分で納得するような答えが出ないと悩みは解決しないと思う。そのため、コーチングにより生徒自身が答えを出すことができるように導いてあげることが、とても重要な教員の役割であると考えている。また、グループではコミュニケーションが上手くいっている教員の姿について考えたが、身なりはとても大切だと感じた。普段から良い雰囲気を作れるよう、今から考えていきたい。

### 《チャレンジコース小学校》

誰かから相談されたときに、解決策を考えてあげなくてはいけないと思って相談を聞いていた。しかし、聞き手が解決策を与えるのではなく、話し手が解決策を導き出せるように選択肢を与え、自己決定ができるように支援してあげることが大切だということがわかった。カウンセリングマインドの「受容、共感、傾聴」のどれか一つでも欠けてしまうと、よいコミュニケーションはできないとロールプレイングをやってみて感じた。子どもとのコミュニケーションを上手くとれるように、今から人とコミュニケーションを上手くとれるようにしていきたい。

### 《チャレンジコース特別支援学校》

今回の講義では「『ネガティブ発生』→『ネガティブ発見』という価値観へ」という言葉が印象的でした。ネガティブな言葉を聴くと、ポジティブな言葉に変換しようとしたり、ポジティブになるようなことを提案したりといったことを考えていました。しかし、ネガティブを見つけた時に、「隠れていたものを見せてくれた」と捉えることで、その子がネガティブになってしまった背景にアプローチできることが分かりました。これから、子どもや保護者、地域の方々と関わろうと、まずは「相手の言葉に耳に傾ける」ことを心がけたいと思います。

### 《チャレンジコース中学校英語又は高等学校英語/中学校国語又は高等学校国語》

今日の講座を通しての一番の学びは、生徒から相談を持ち掛けられたときには、解決策を提案することではなく、受容・共感をすることが大切であるということを知ることができたことです。生徒から相談されると「何とか解決してあげたい」という気持ちが強くなってしまいうため、自分の経験談や考えたことを伝えてしまいがちですが、まずは生徒の気持ちを受け止め、状況を整理し、最終的には生徒自身の力で課題を解決できるように関わっていくことが大事だと感じました。また何かを相談されたとき、その内容に集中してしまい「話してくれてありがとう」と感謝を伝えることを忘れていたと実感したので、これからは相談してくれたことに対して感謝を伝えることを心がけていきたいです。このような日々の心掛けが、私が目指す教師像である「生徒たちにとって安心できる存在」に繋がっていくと思います。